

図 1 揚湯試験での透水量係数(T)の比較

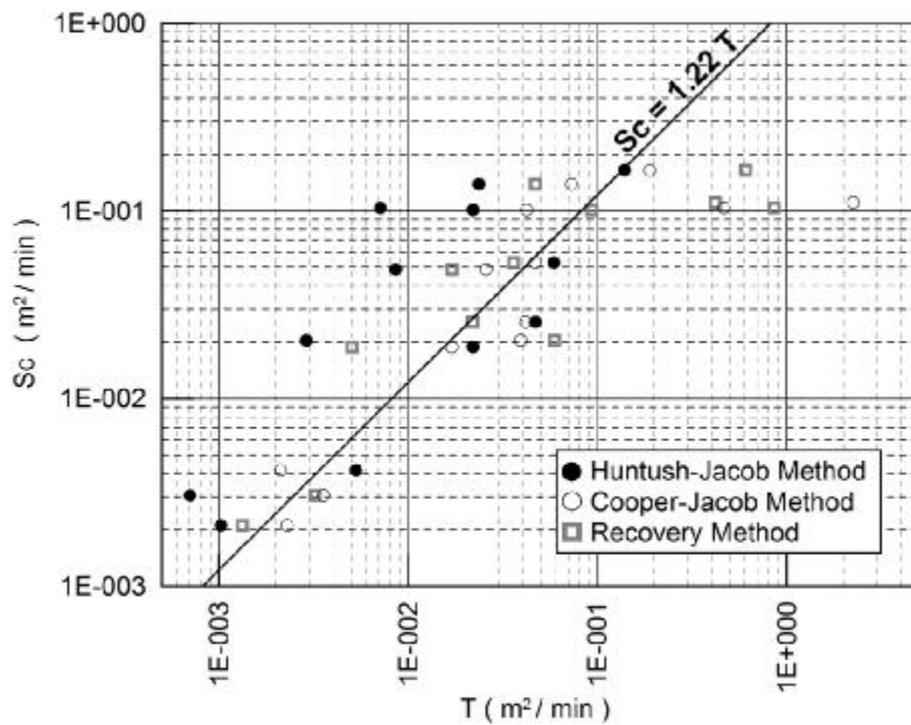


図 2 透水量係数(T)と比湧出量(Sc)との関係

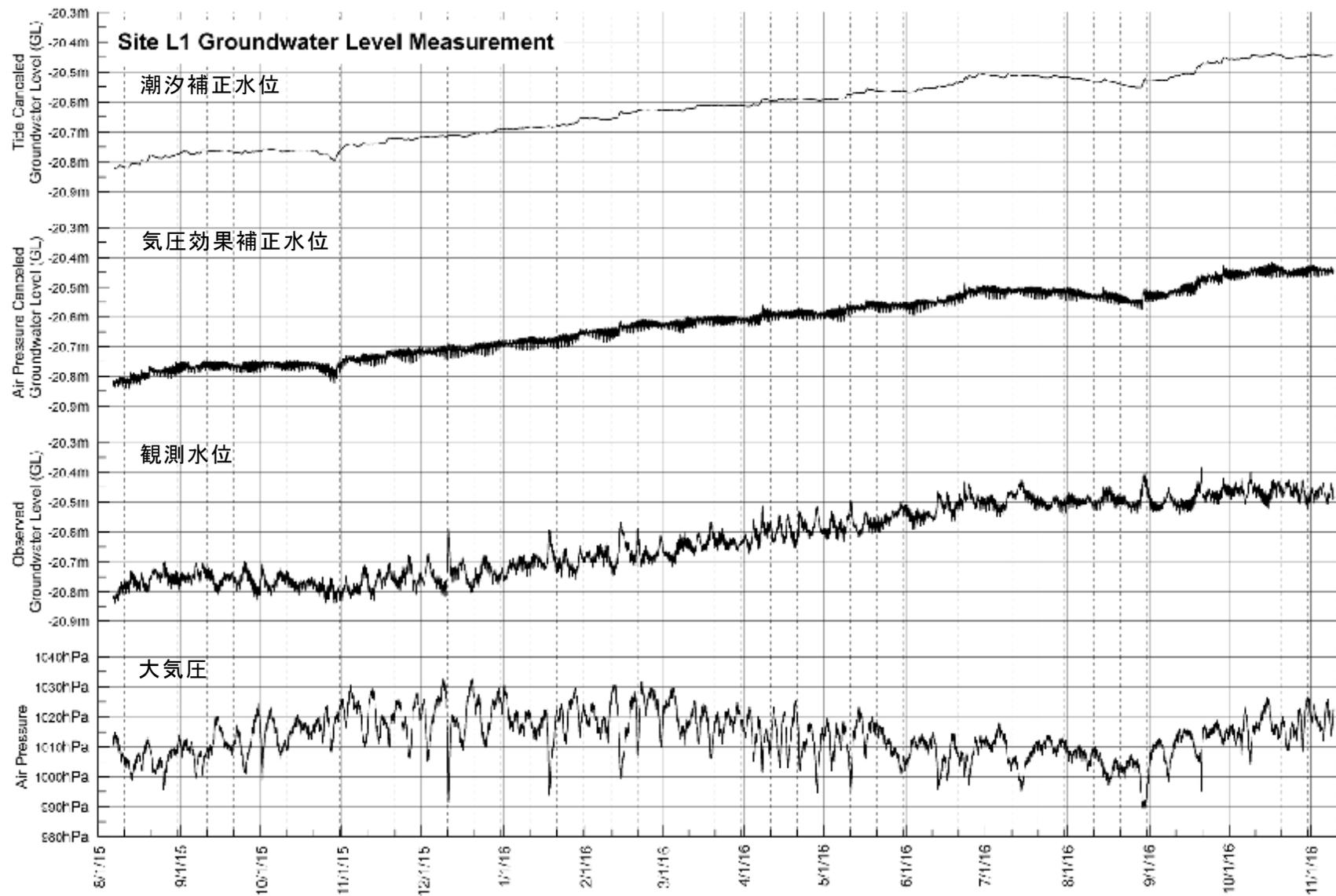


図 3a 茨木市施設 L1 の地下水位観測結果

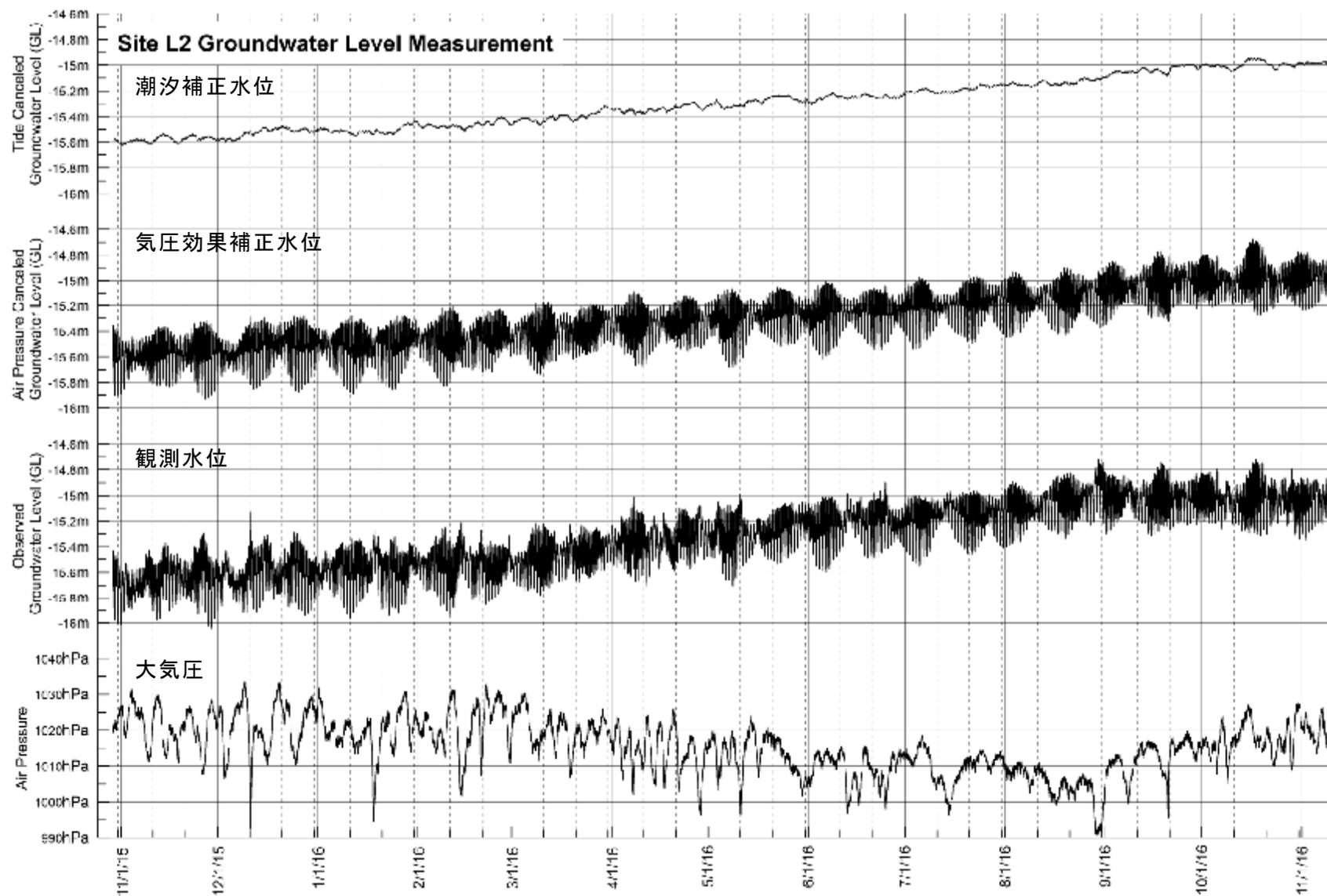


図 3b 大阪市此花区施設 L2 の地下水水位観測結果

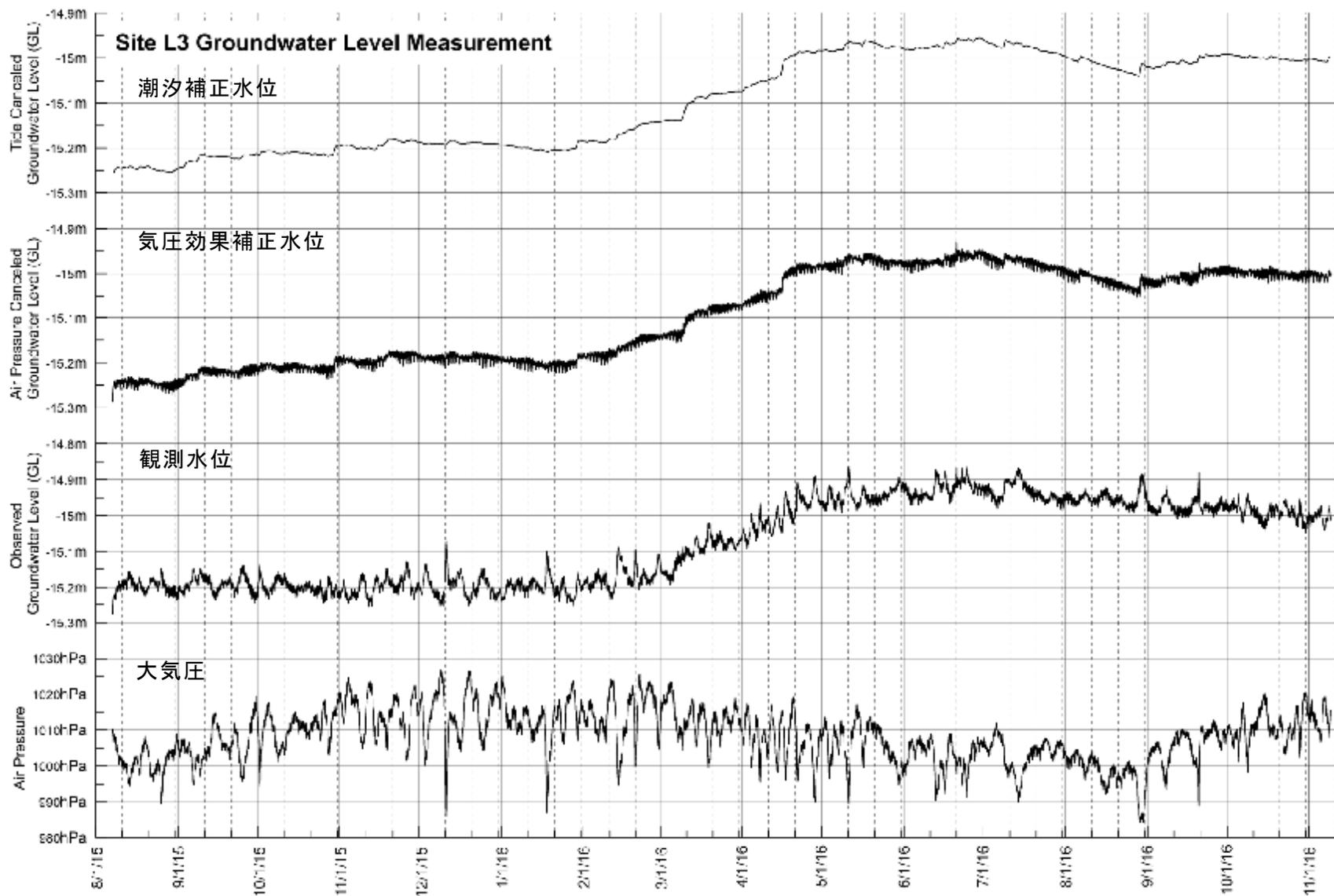


図 3c 和泉市施設 L3 の地下水位観測結果

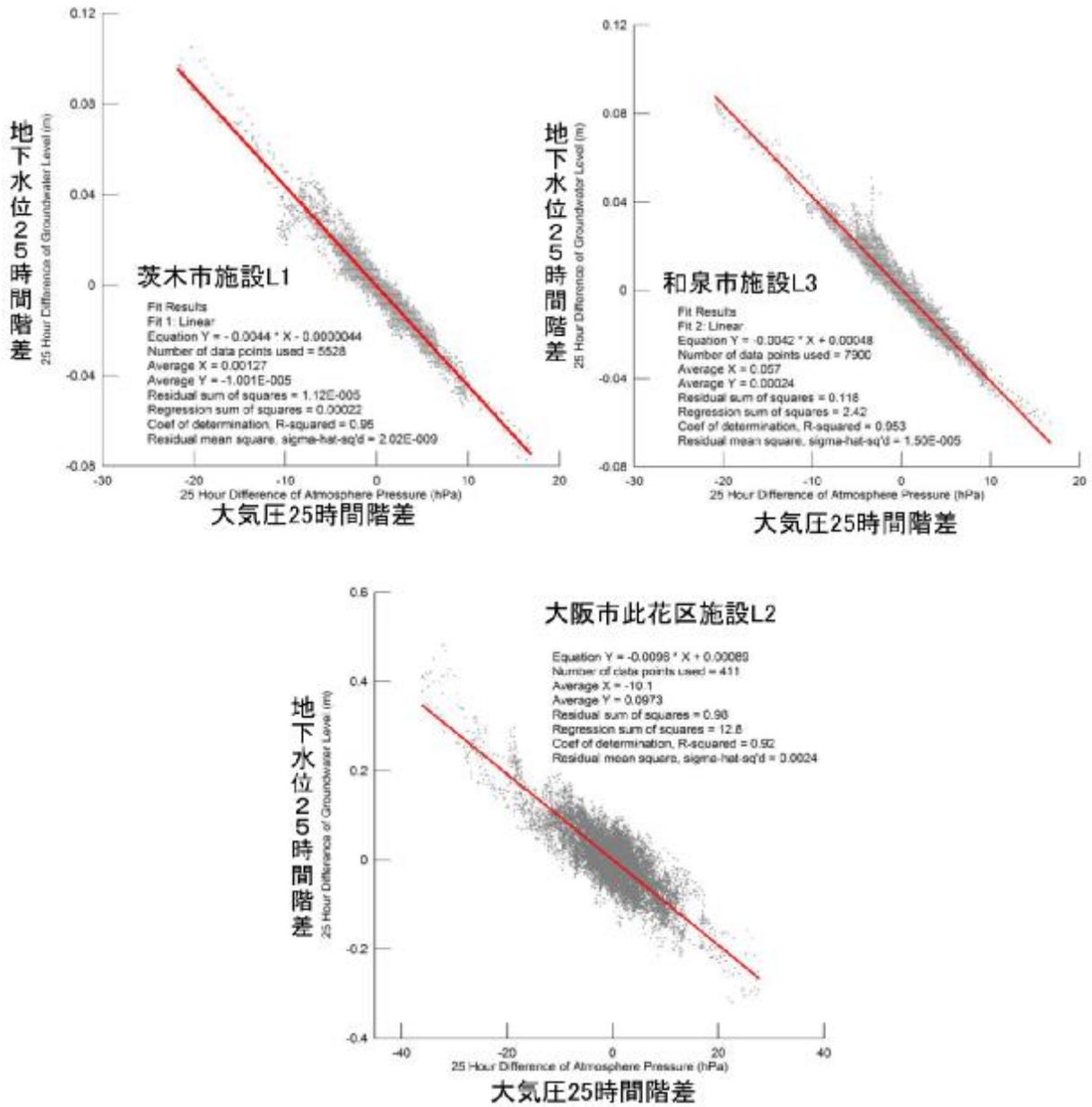


図4 大気圧に対する地下水位の相関(25時間階差)

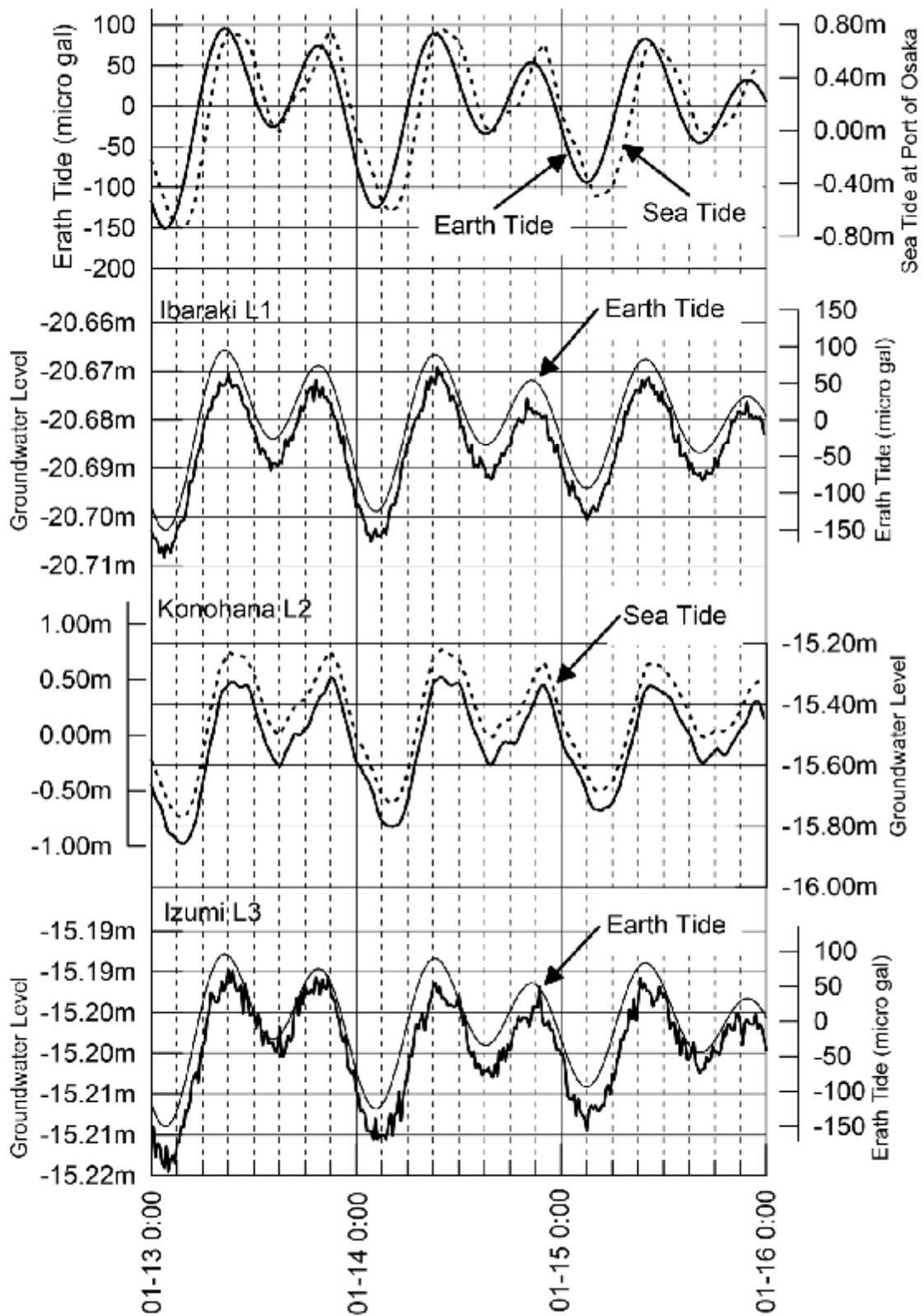


図5 3地点の地下水位変動と地球潮汐(海面・固体潮汐)

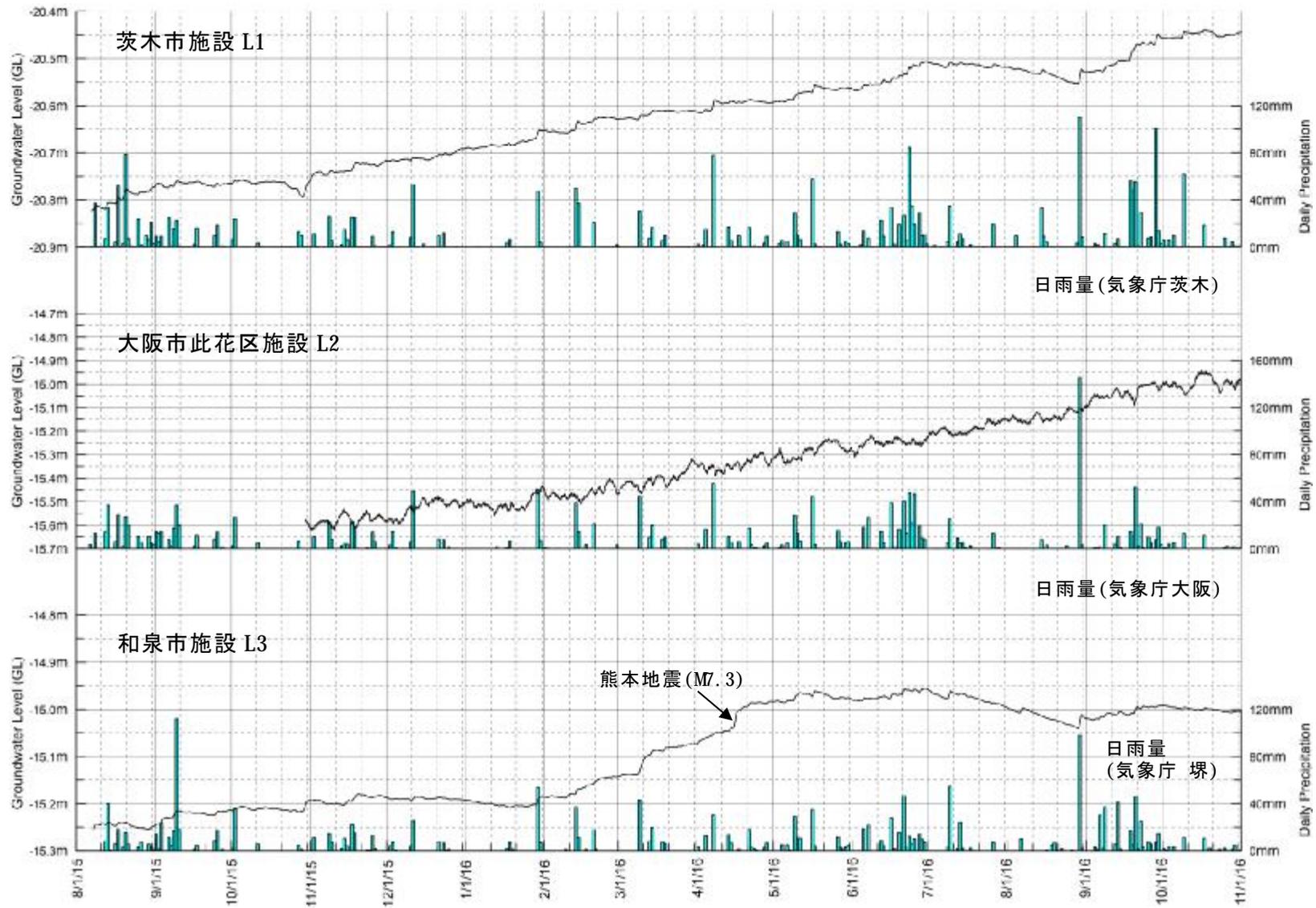


図 6 気圧効果・潮汐補正後の地下水位変動と日雨量

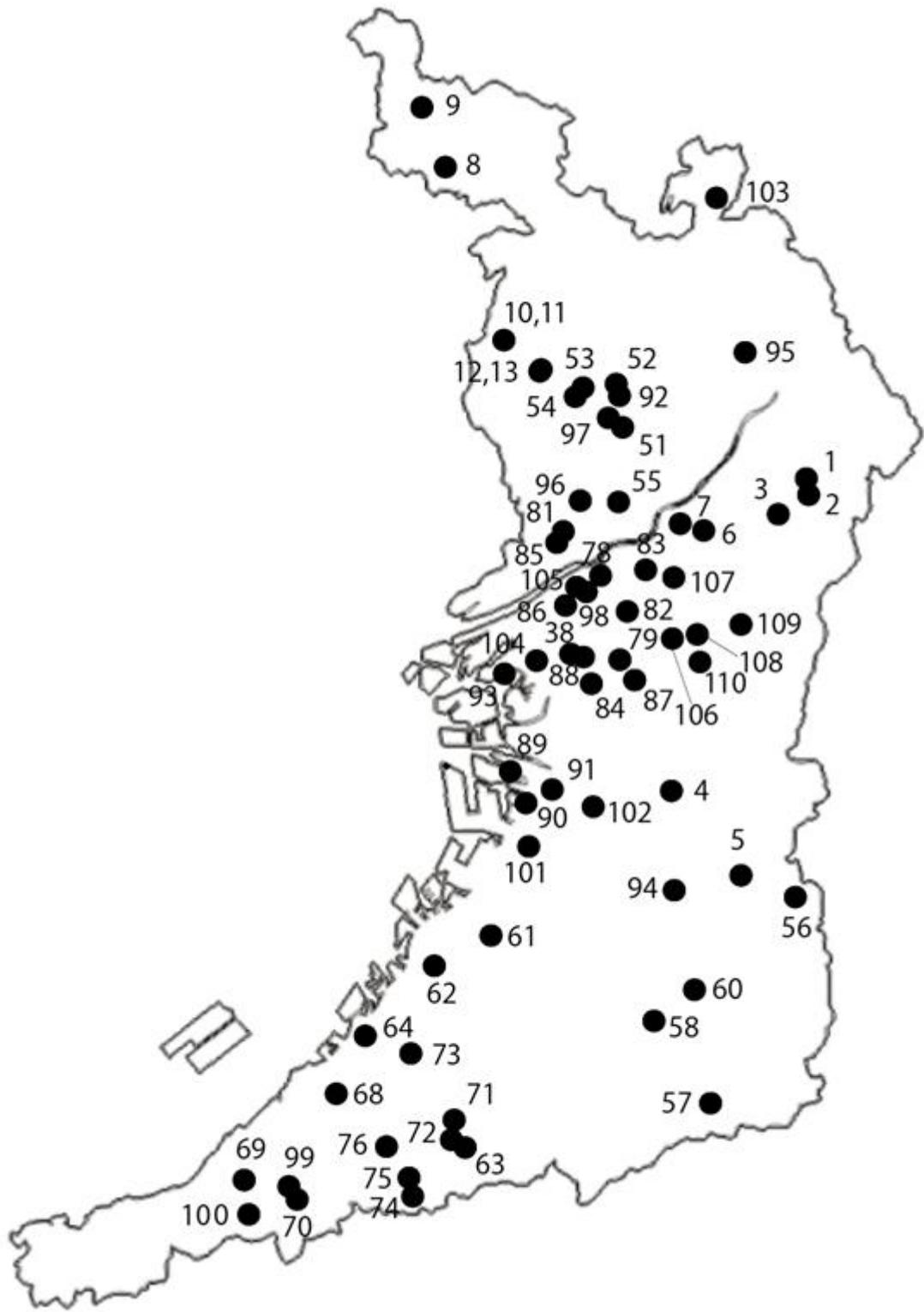


図 7 温泉水の水質分析試料採取地点

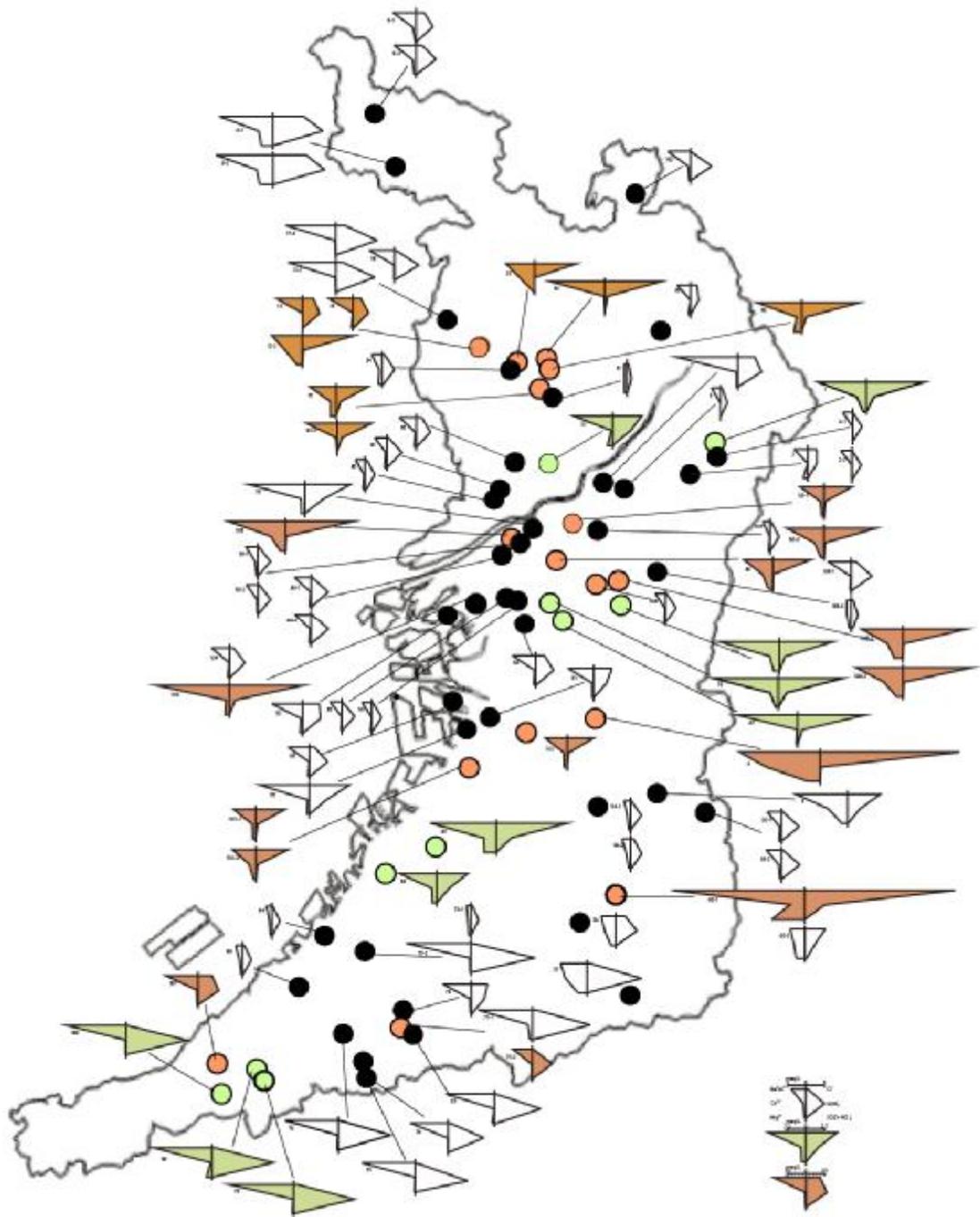


図 8 ヘキサダイアグラムを用いた水質の主成分組成

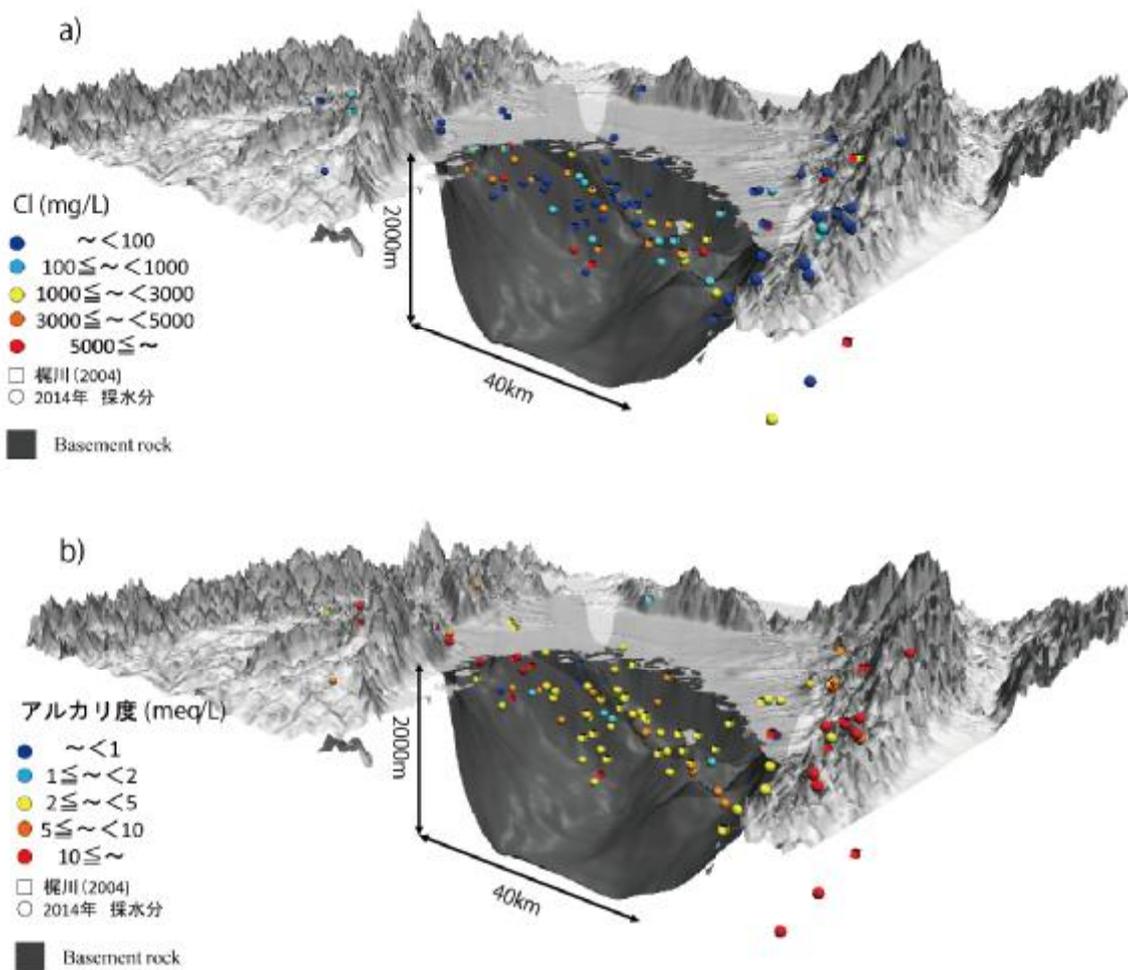


図9 塩化物イオンとアルカリ度の3次元分布

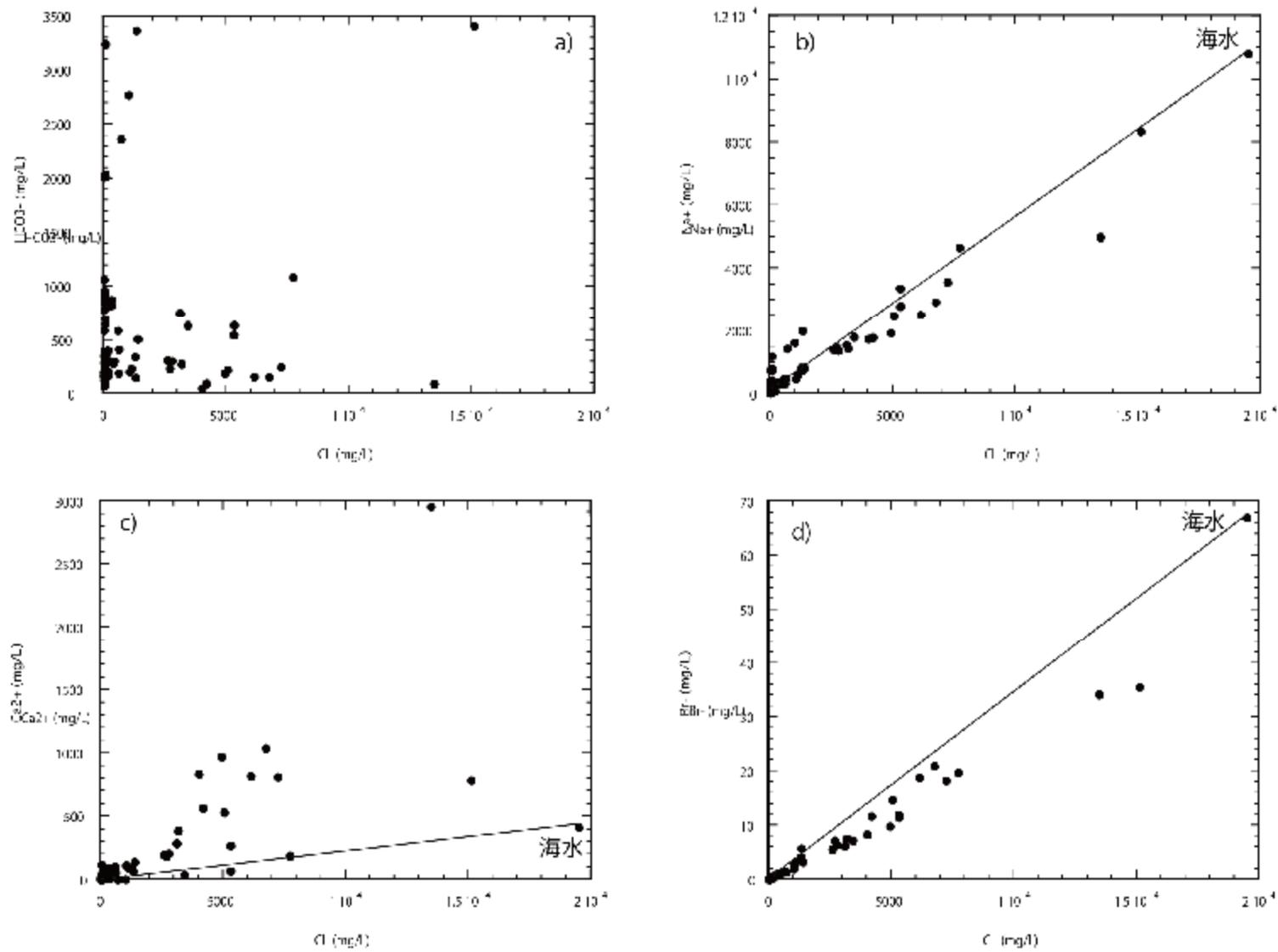


図 10 主成分組成の関係

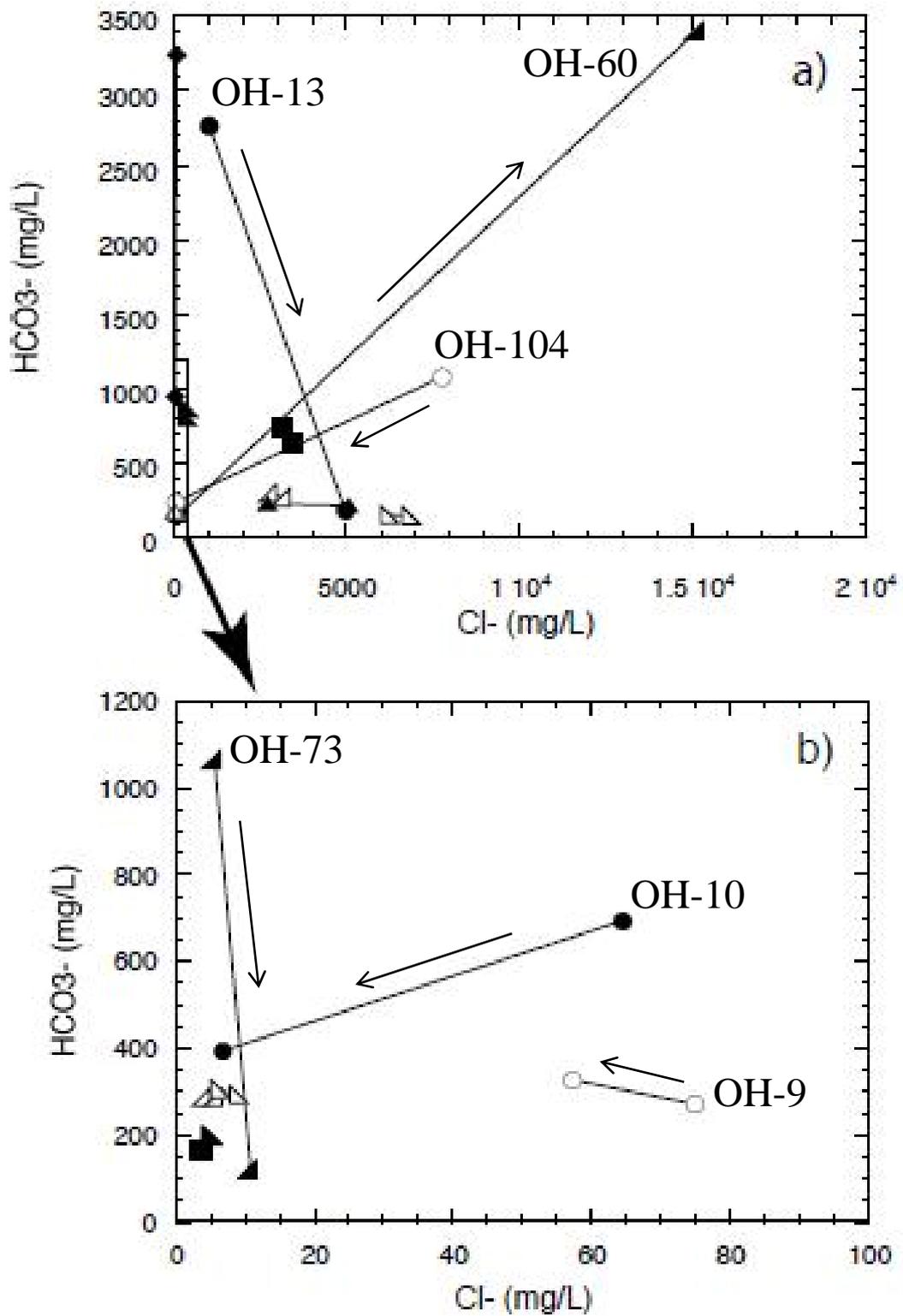


図 11 平成 15 年 (2003 年) と平成 26 年 (2014 年) の泉質の比較

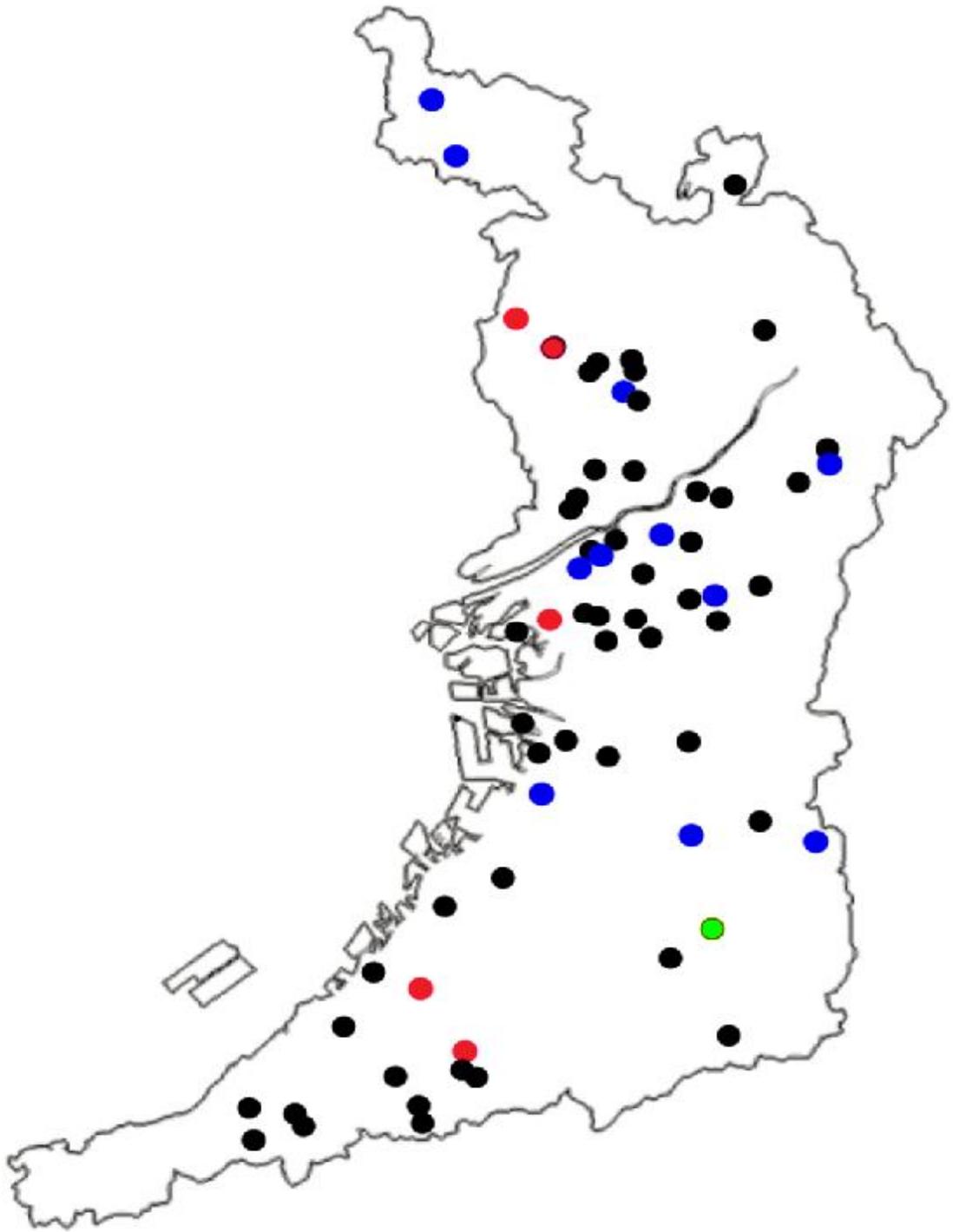


図 12 平成 15 年（2003 年）と平成 26 年（2014 年）の泉質変化の地域的分布
 赤丸：水質劣化地点、緑丸：水質向上地点、青丸：水質に大きな変化がない
 黒丸：平成 26 年（2014 年）に試料採取したその他の地点

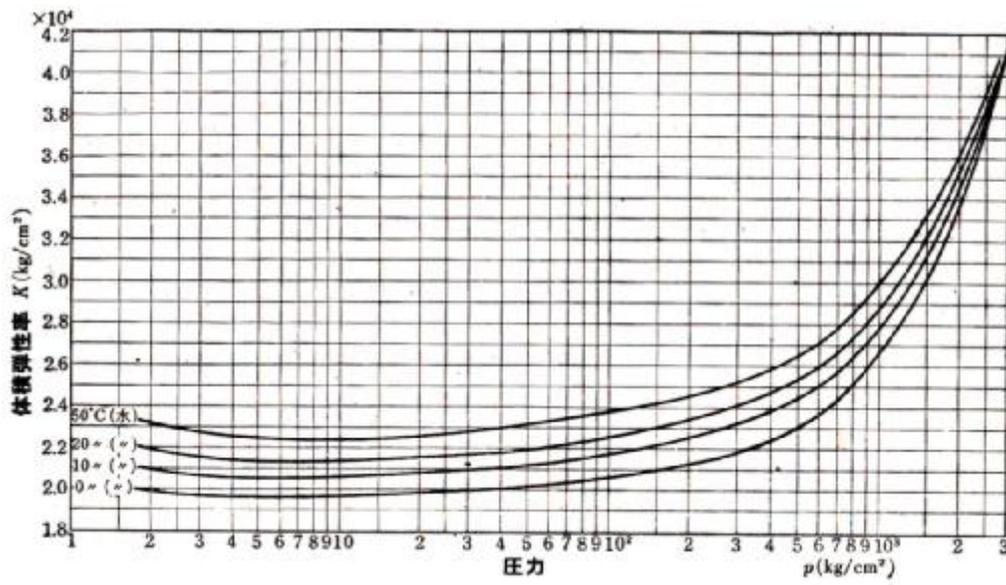


図 13 水の温度・圧力条件による体積弾性率の変化

水の体積弾性率は圧力 100kg/cm^3 以下では温度依存が圧力依存より大きい。
 $20\text{-}50^\circ\text{C}$ 間では概ね $2.2\text{E}+08\text{ kgf/m}^2$